

海外研究滞在から 国際共同研究へ

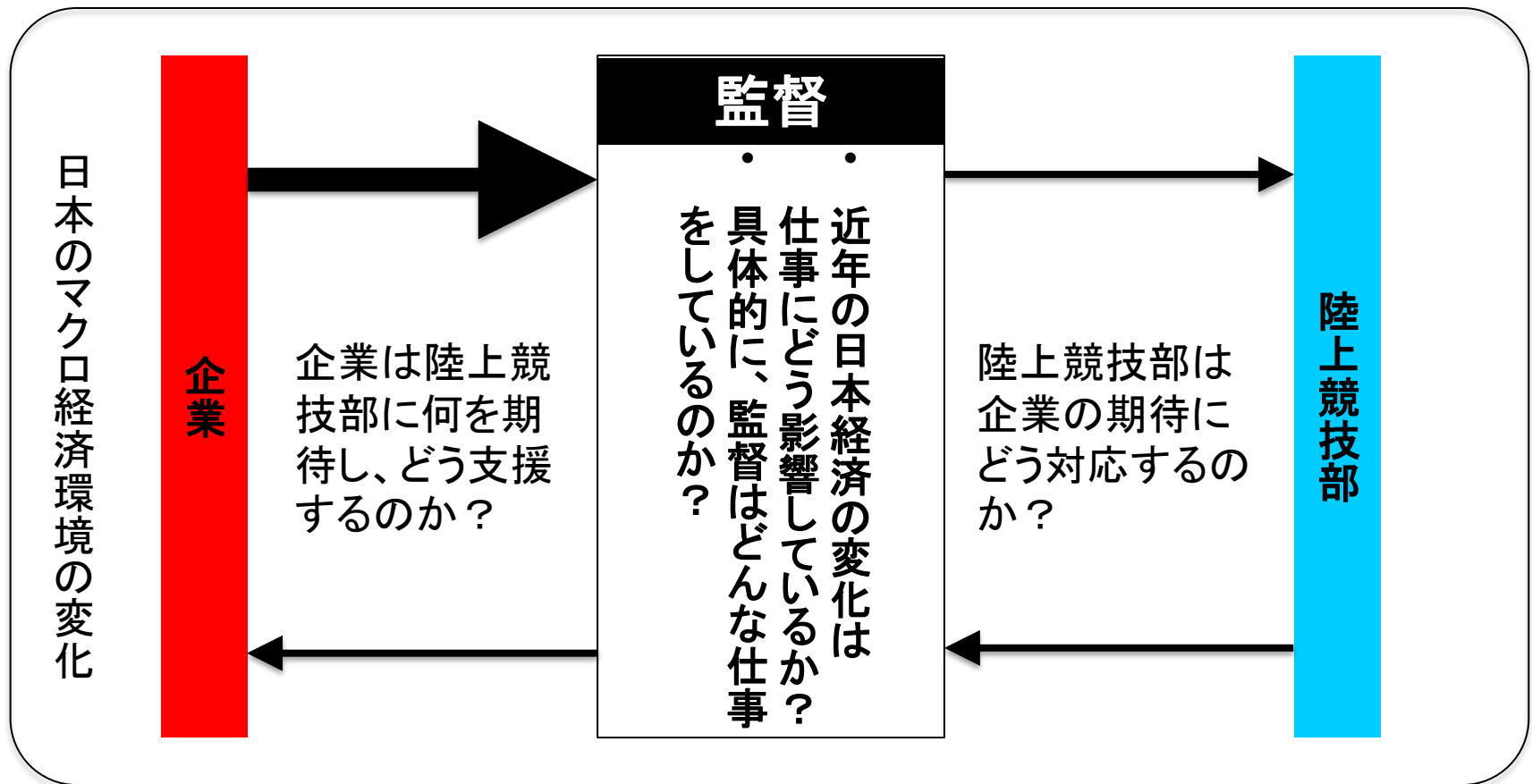
2013年3月29日(金)

一橋大学大学院 商学研究科

中村 英仁(ひでまさ)

研究テーマ

- 実業団陸上競技部における監督の仕事研究



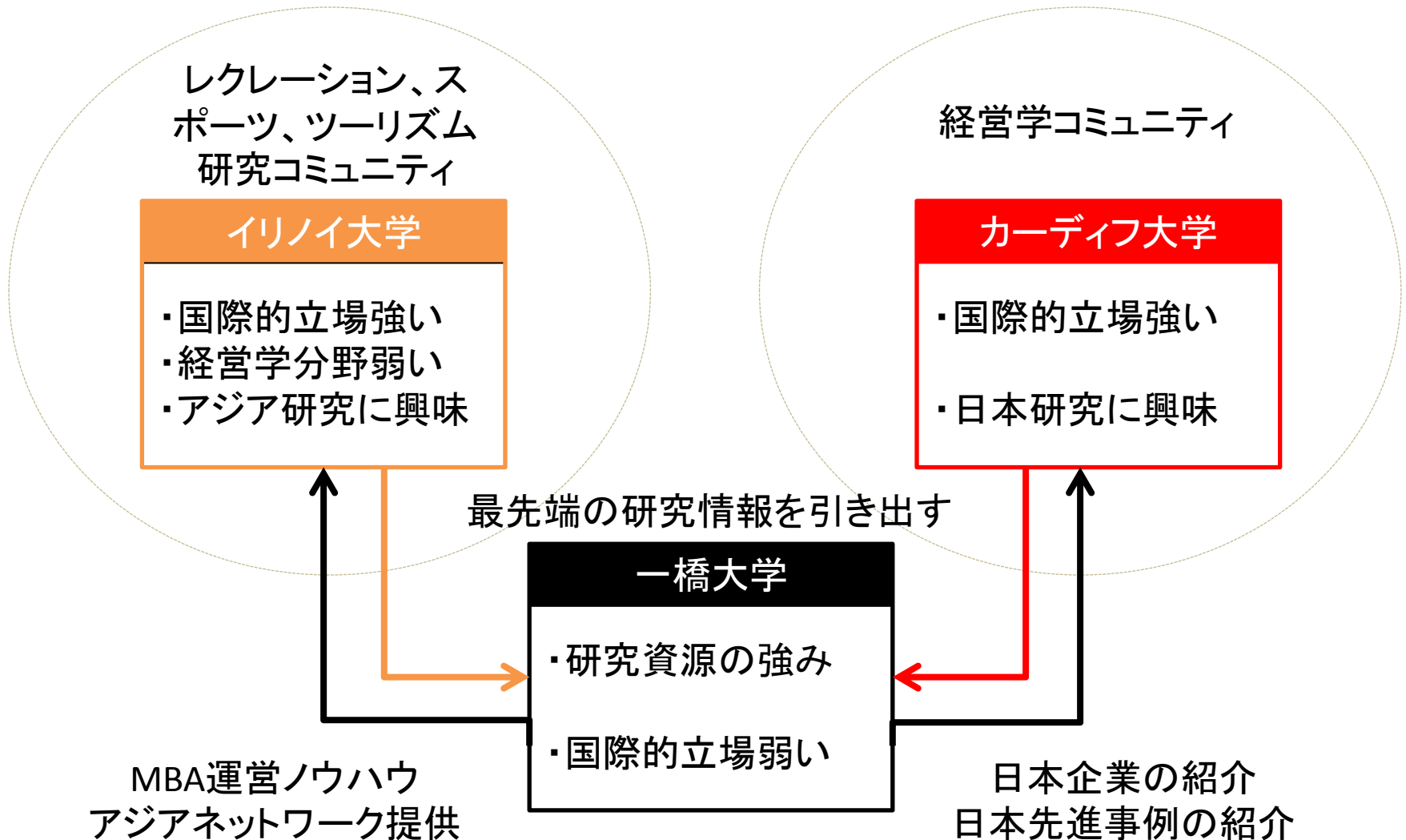
当初の計画

- 博士論文を国際的な研究潮流にのせる
- 国際的研究ネットワークの仲間入りをする

派遣事業の成果

- 博士論文を国際的な研究潮流にのせる
 - 国際学会2つへの投稿(一勝一敗)
 - 共著での論文作成(執筆中)
- 国際的研究ネットワークの仲間入りをする
 - 部局間学術交流協定の締結準備(アメリカ)
 - 共同研究として調査先の斡旋(イギリス)

各大学との協力関係



研究活動の記録

- 8月 : 渡米 → ミーティング & 教員との交流
- 9月 : 読書 & アブスト執筆 ⇒ 完成
- 10月 : 共同研究の種まき & 協定の準備
- 11月 : 渡英 → ミーティング & 教員との交流
- 12月 : 読書 & アブスト執筆 ⇒ 帰国後完成

互恵関係構築に向けて

- 基礎的な研究知識・材料を持つこと
- 相手の強みと弱みを分析し、何をGive
何をTakeできるかを明確化すること
- コミュニケーション能力の向上

反省点

- 研究協力体制の構築を優先して、自分のやりたいことがやや後回しになった感がある
- 短期滞在では、向こうで何ができるかはある程度滞在前の準備で決まってしまう。もっと準備しておけばよかったと思うこともあった

ご清聴ありがとうございました



写真：イリノイ大学での住居と周辺